

# 気仙沼観光マーケティングレポート(平成 30 年 3 月版)

## ◆今月のピックアップ

・物販施設、観光施設、観光案内所とも前年を上回る入込みが続く(物販施設前年比 107.9%, 観光施設同 107.4%(新規施設を除く)、観光案内所同 116.3%)。全体的には観光客は増加傾向にあるものと思われる。一方で宿泊客は1月より連続して前年割れが続いている。

単純には日帰りや通過型の観光客が回復しているように思われる。一方で宿泊客の減少が続いているところを見ると、施設や工場等の復旧に伴い、商用客が減少に転じているものと思われる。

復興関連の宿泊者は「年度末工事の追い込み需要で増加している」との宿泊施設からの声が寄せられた。

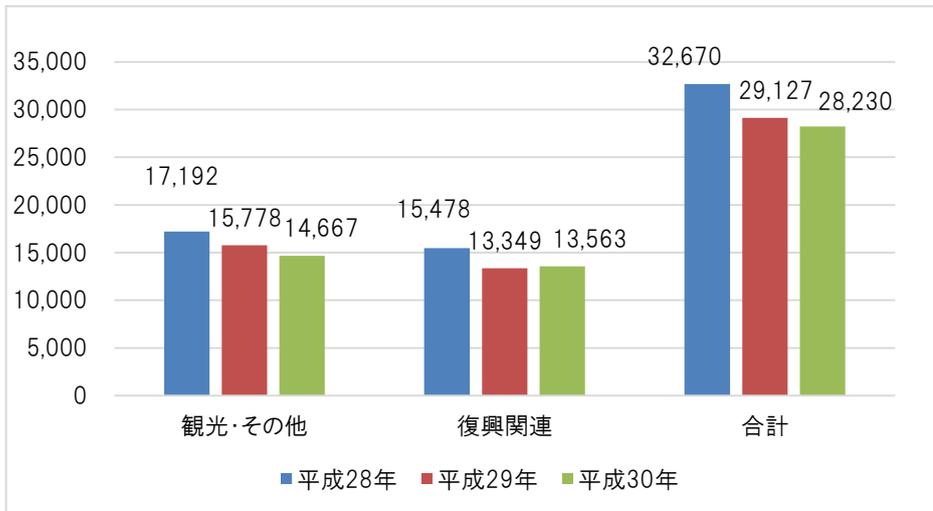
## 1. 宿泊

### (1) 宿泊人数

#### ① 同月前年比

(単位:人)

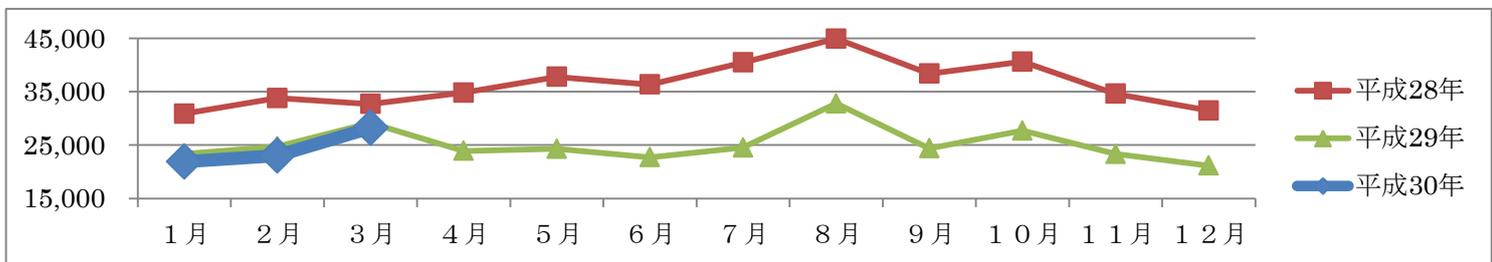
(単位:人)



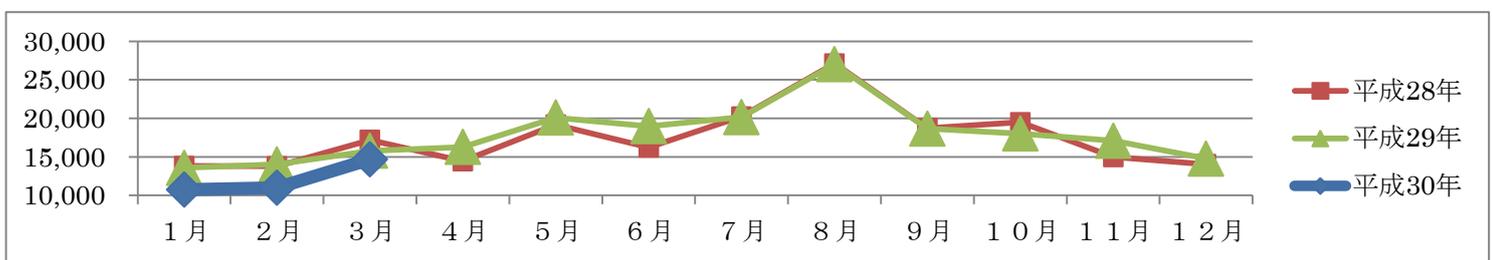
宿泊者	平成 28 年 (3 月)	平成 29 年 (3 月)	平成 30 年 (3 月)
観光 (その他)	13,821	8,047	8,478
復興関連	15,478	13,349	13,563
総計	32,670	29,127	28,230

※平成 29 年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しています。

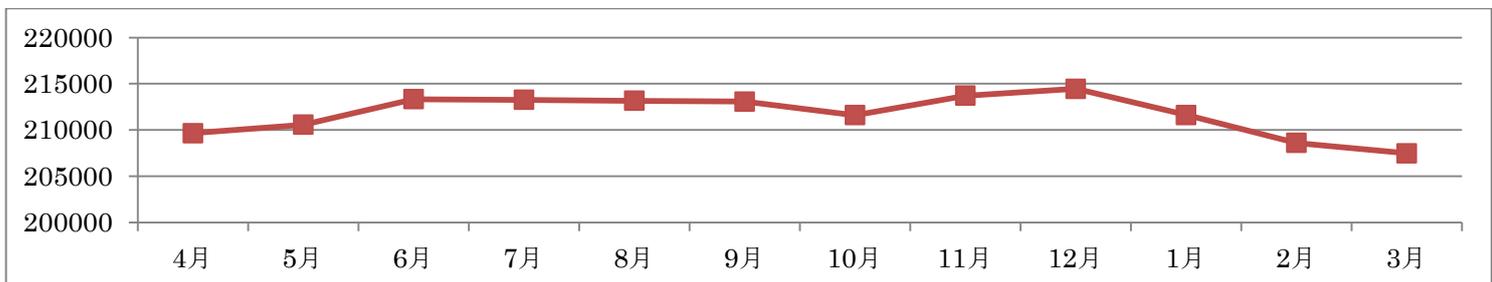
#### ② 年間推移(合計)



#### ③ 年間推移(観光+その他)

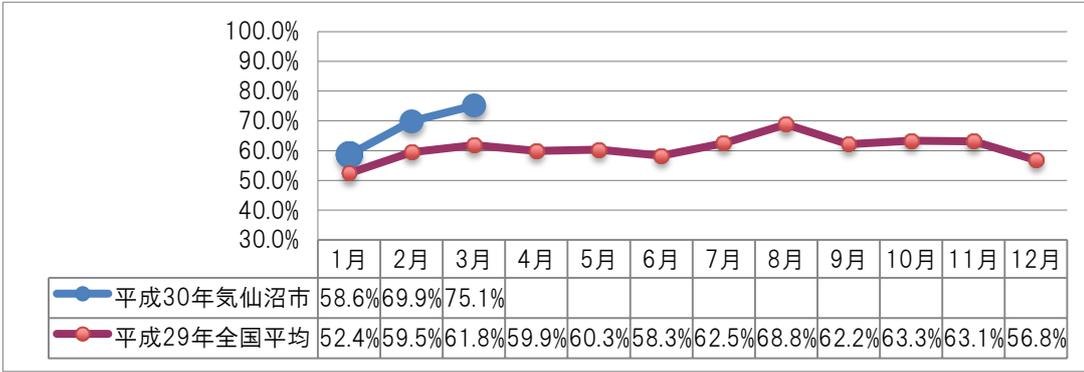


#### ④ 移動年計(観光+その他)



(2)客室稼働率

《参考データ》



宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成29年 (3月)
旅館	38.9%
リゾートホテル	59.0%
ビジネスホテル	77.5%
シティホテル	80.2%
簡易宿所	26.1%

※平成29年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成29年・年間値(速報版))より

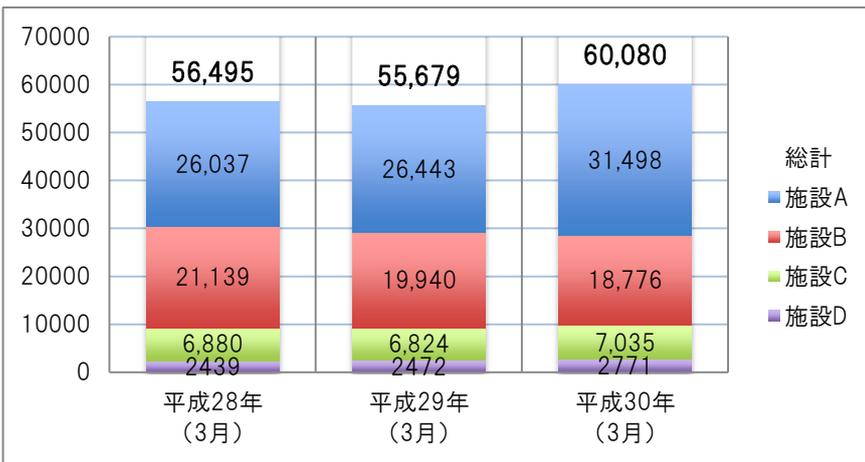
・同月前年比の場合、復興関係は微増、観光+その他は前年を割り込んだ。観光+その他は1月より前年割れが続いており、移動年計の数値も同じく1月から下降線をたどっている。宿泊施設からの声としては「3月11日は今年で8年目になったが、例年に比べ来訪者が少ない印象を受けた」「3月9日、10日あたりにマスコミの宿泊が集中したが、復興支援団体・ボランティア団体などはなかった」「毎年利用の学生団体2校の利用がなくなった」などと厳しい反応が続いた。一方で「海外のお客様も少数ではあるが利用は増えてきている」などの明るい声も寄せられた。

2. 物販施設(レジ通過人数)

(1)同月前年比

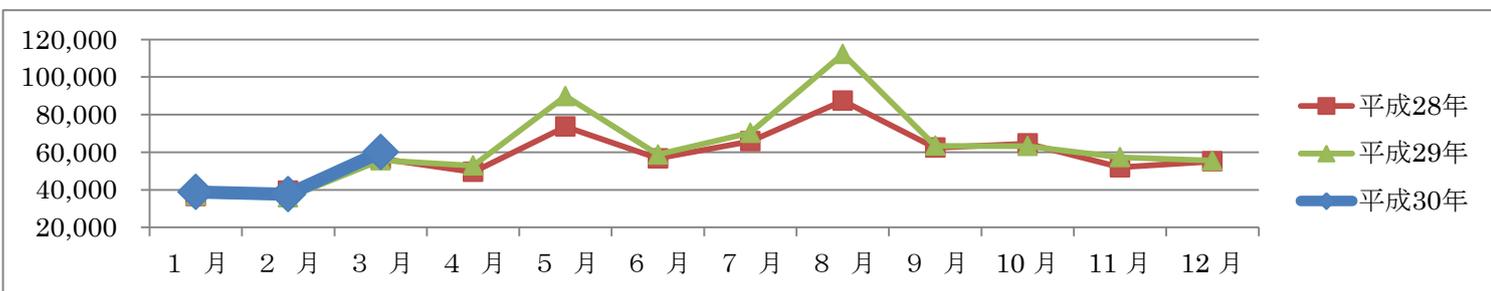
(単位:人)

(単位:人)

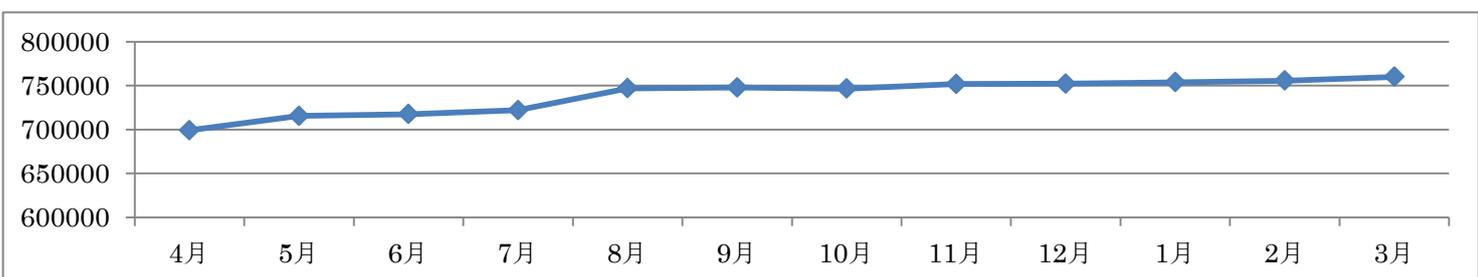


物販施設	平成28年 (3月)	平成29年 (3月)	平成30年 (3月)
施設A	26,037	26,443	31,498
施設B	21,139	19,940	18,776
施設C	6,880	6,824	7,035
施設D	2,439	2,472	2,771
総計	56,495	55,679	60,080

(2)年間推移



(3)移動年計



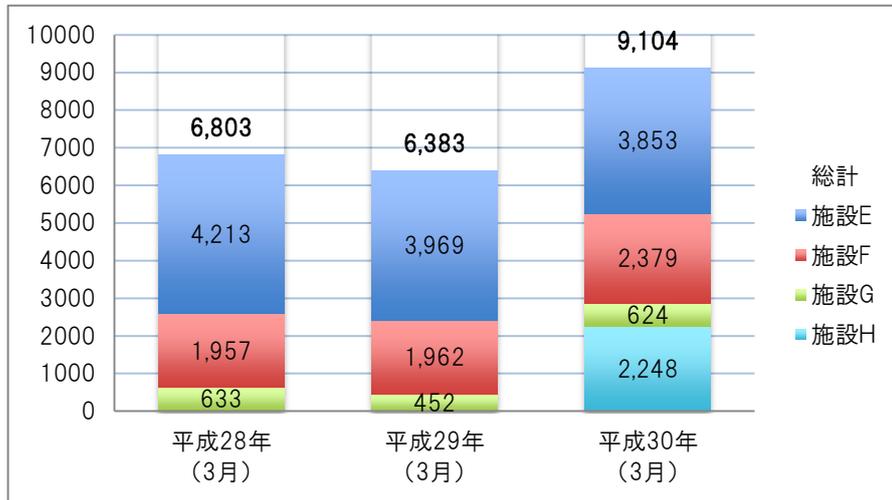
・物販施設は3月も全体的に上昇傾向が続いている。「3月は寒暖の差が激しかったが、昨年より若干増加した」という反応があった。一方で「復興屋台村、気仙沼横丁の閉鎖などもあり、内湾・港町への観光客の減少を感じる。内湾の道路工事を早く終わらせて欲しい」との声も寄せられた。

### 3. 観光施設(利用人数)

#### (1) 同月前年比

(単位:人)

(単位:人)

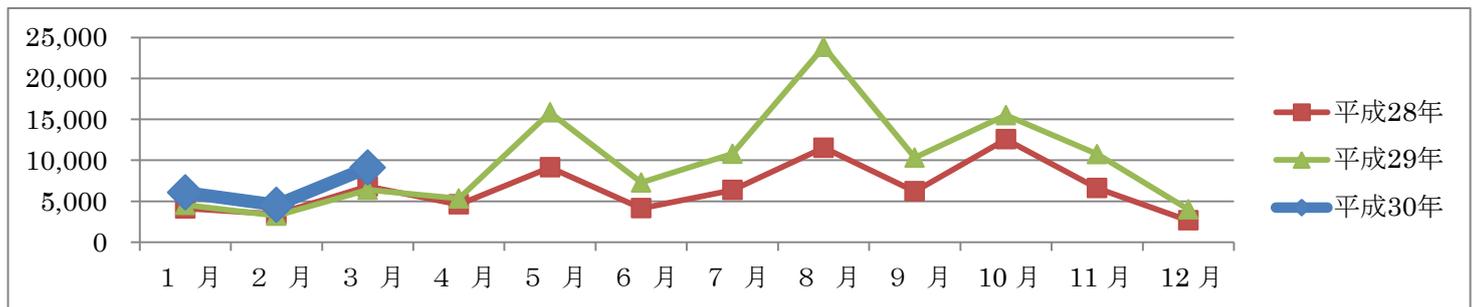


観光施設	平成28年(3月)	平成29年(3月)	平成30年(3月)
施設E	4,213	3,969	3,853
施設F	1,957	1,962	2,379
施設G	633	452	624
施設H			2,248
総計	6,803	6,383	9,104

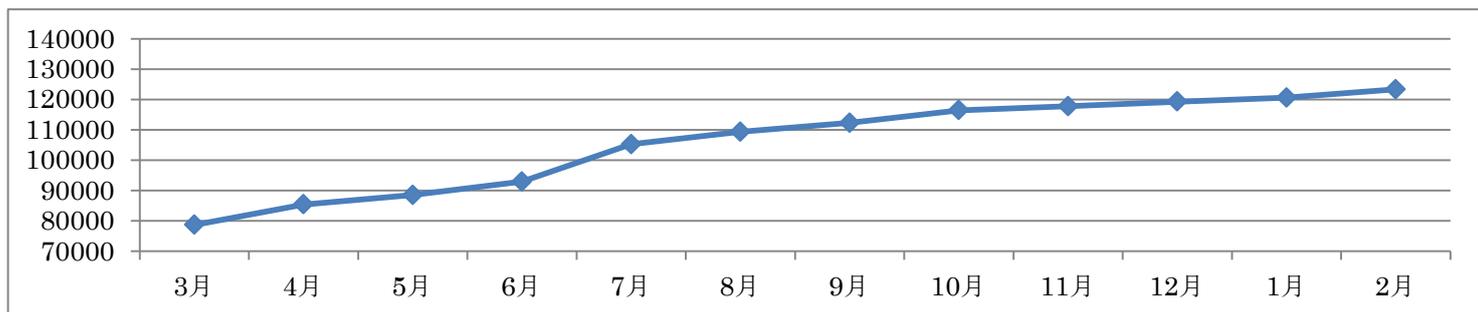
※平成29年5月より施設Hを追加し、調査しています。

#### (2) 年間推移

(単位:人)



#### (3) 移動年計



※平成29年5月より施設Hを追加し、調査しています。

・3月も全体的に上昇傾向が続いている。施設Hをのぞいた同月前年比も前年比 107.4%と好調。物産施設とあわせても観光客の入込みは回復傾向が続いているものと思われる。

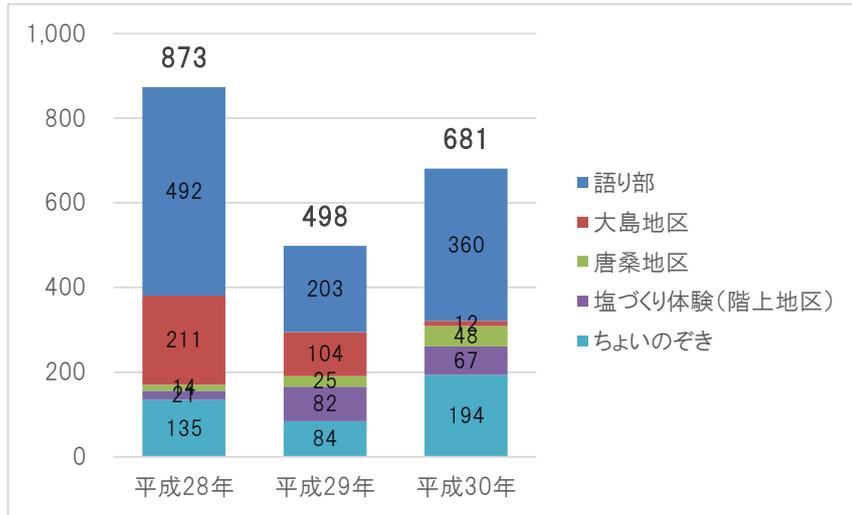
#### 4. アクティビティ体験

##### (1) 体験人数

###### ① 同月前年比

(単位:人)

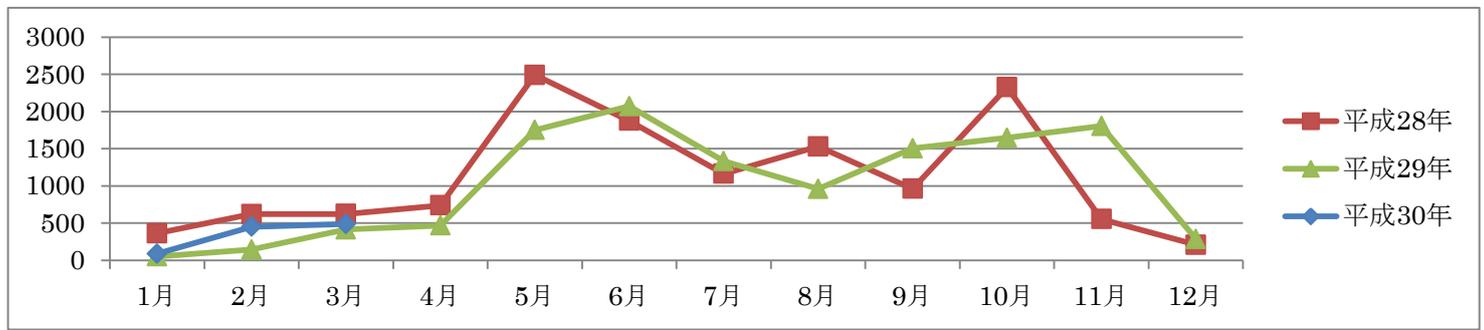
(単位:人)



アクティビティ	平成 28 年 (3月)	平成 29 年 (3月)	平成 30 年 (3月)
語り部	492	203	360
大島地区	211	104	12
唐桑地区	14	25	48
塩づくり体験 (階上地区)	21	82	67
ちよいのぞき	135	84	194
総計	873	498	681

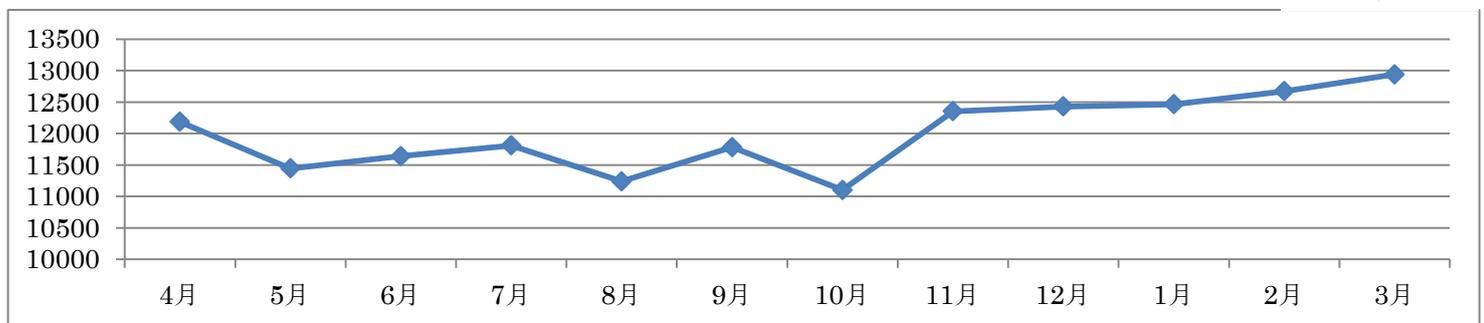
###### ② 年間推移

(単位:人)



###### ③ 移動年計

(単位:人)

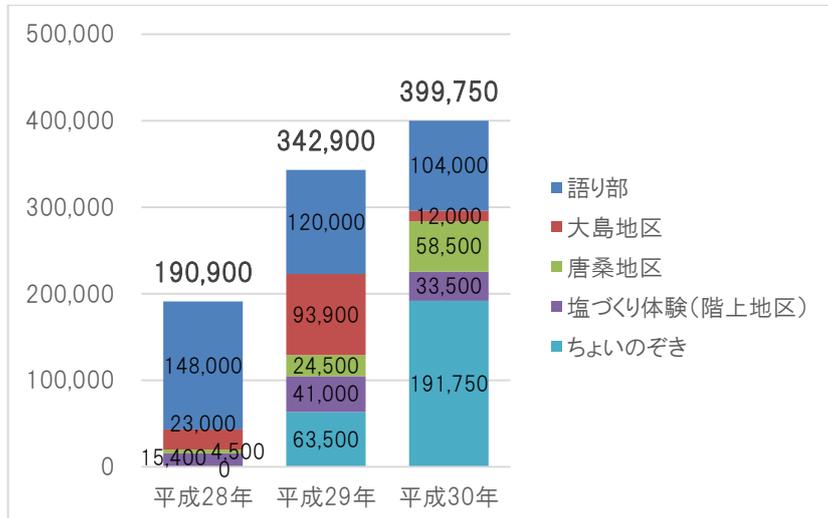


##### (2) 体験金額

###### ① 同月前年比

(単位:円)

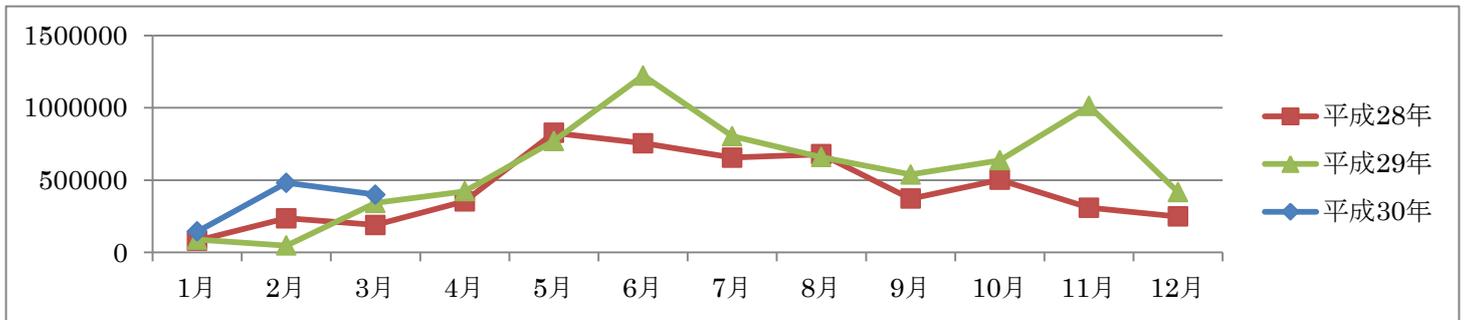
(単位:円)



アクティビティ	平成 28 年 (3月)	平成 29 年 (3月)	平成 30 年 (3月)
語り部	148,000	120,000	104,000
大島地区	23,000	93,900	12,000
唐桑地区	4,500	24,500	58,500
塩づくり体験 (階上地区)	15,400	41,000	33,500
ちよいのぞき	0	63,500	191,750
総計	190,900	342,900	399,750

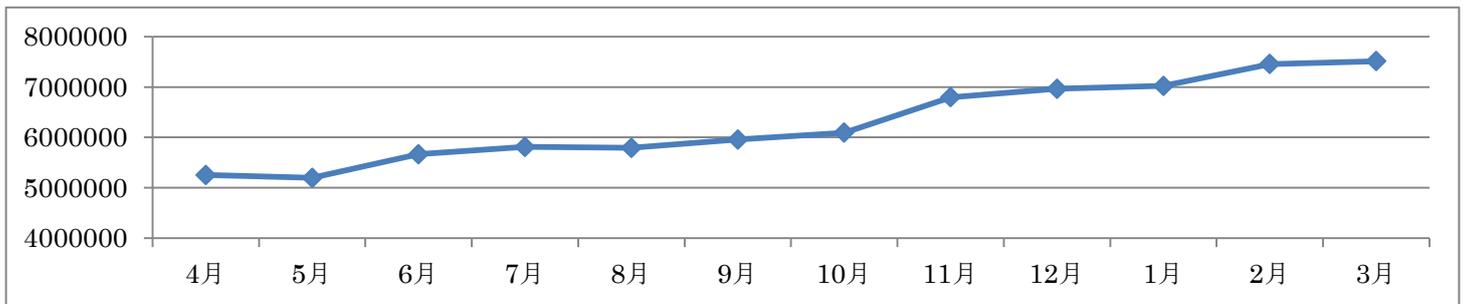
②年間推移

(単位:円)



③移動年計

(単位:円)



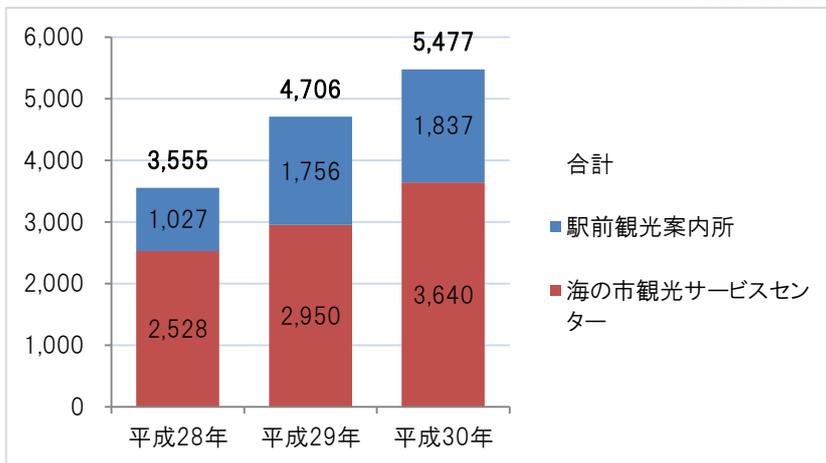
・同月前年比は全体的に増加となった。今年は3月11日が日曜日ということもあり、語り部の個人参加者(少人数)が少なかった。そのため体験人数は増加したものの体験金額は微減となった。唐桑地区はトレッキングイベントが好調。ちよいのぞきは魅力あるレギュラープログラムが多く、体験人数で倍増、体験金額で3倍となった。一方で大島地区は体験人数、体験金額とも大幅な減少となっている。

5. 観光案内所

(1) 利用人数(同月前年比)

(単位:人)

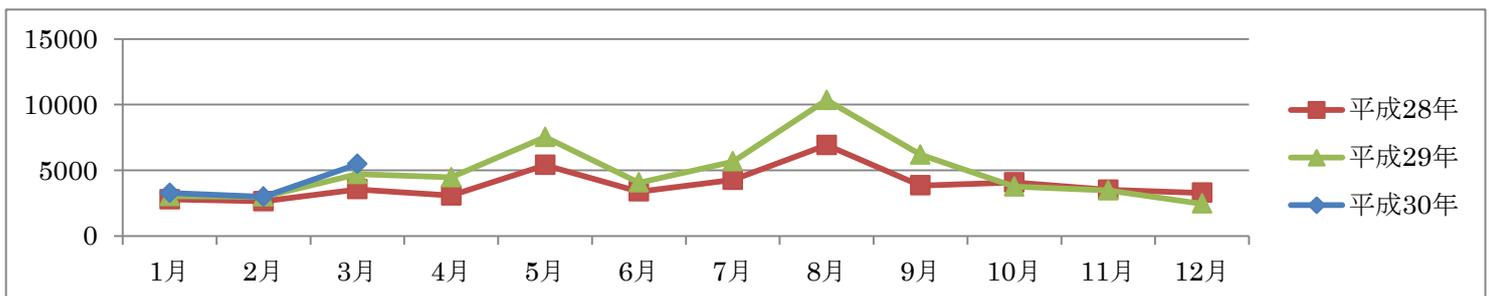
(単位:人)



観光案内所	平成28年 (3月)	平成29年 (3月)	平成30年 (3月)
駅前観光案内所	1,027	1,756	1,837
海の市観光サービスセンター	2,528	2,950	3,640
総計	3,555	4,706	5,477

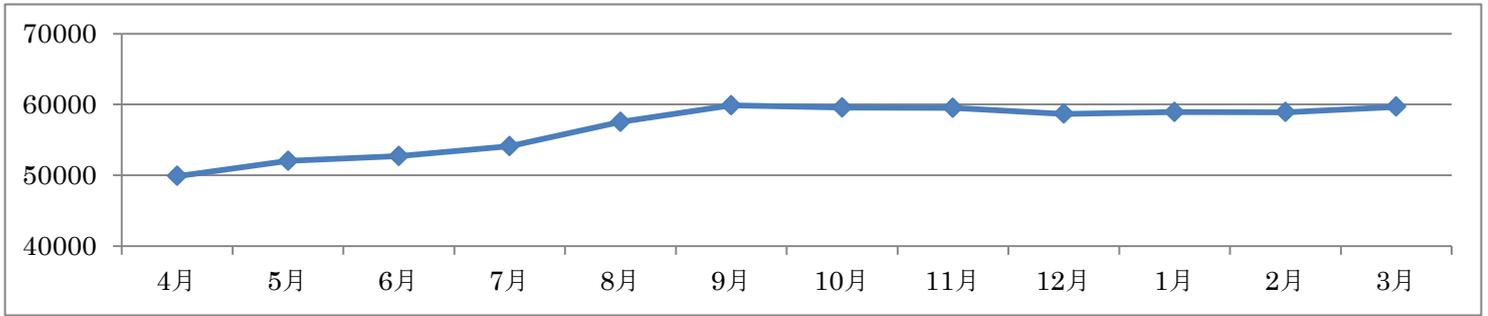
(2) 同年間推移

(単位:人)



(3)移動年計

(単位:人)



・同月前年比で、海の市観光サービスセンターが 123.3%の増となり、全体でも 116.3%の増加となった。海の市観光サービスセンターの増加は、3月11日が日曜日で来客が多かったことと、それに加え一番の要因として3月25日に海の市で行われたイベントの入場者の影響が大きい。 ※3月25日は400人超えの来客があった。